

蔵王山安善寺

◆編集・発行人◆
近藤龍弘

〒940-0052
長岡市神田町1丁目4番地10
TEL.(0258) 32-2811

◆スタッフ◆
安藤一夫

小林国二 小林善秋 高橋潔
佐藤正樹 近藤マリ子 近藤善信

過 去



脚下照願

雲巖見龍書「脚下照願」

新年明けましておめでと
うございます。

皆様方の萬福を祝祷申し上
げ、尚倍旧の御厚誼をお願
い申しあげます。

上の写真は、安善寺前住
職、雲巖見龍方丈様の書か
れた『脚下照願』です。禅宗
の寺院の玄関や東司(お手
洗い)、廊下などに勝に記
して置かれておりますが、
足もとに気をつけよとの禅
家の標語です。「脚下」とは、
足もとという意ですが、転
じて本来の自己にたとえら
れます。「照願脚下」とは、学
人の注意をうながすことか
ら転じて自己反省の意に用
い、学人が他に向かつて悟



りを目指すことの愚を警
める語です。似た語に『脚下
煙生』(きやつかけむりをし
ようず)という、足もとから
黒煙が上がって何も見えな
いことで、他に向かつて仏
法を求めるとは徒勞である
ことを示した語もあります。
御本山では一日と十五日
に朝課の後、小参(修行僧
が、師家(修行経験豊富で師
としての学徳を有し、修行
僧の指導役に当たる僧)から
教えを受ける)があります。
私の修業時代は、ベトナム
戦争激しい時代で、小参の時、
「ベトナムでは一般の人々が
毎日多数犠牲になっていく
今、私共は何もしなくて

よいのでしょうか？」と質問
したところ、「脚下を照願せ
よ」との教示を受け、眼の覚
めた思いでした。まわりにな
がされることなく、あしもと
をきちつと観つめ、今行なう
べきことをきちつとやる事
が大事との教えでした。

現在の日本はバブル経済
崩壊後、不景気風が吹き荒
れ、日本人の多くの人々が
大変な状態ではないでしょ
うか。近代科学技術の日進
月歩のなかで、革新、溢れ
んばかりの情報、円相場や
株価が刻一刻と変化するこ
とにより、大きな影響をう
ける人々が大勢いたり、世
界の変化が直接個人に及ん
でくる時代です。

そんなせいか、心の痛む
事件も年々増えつづけてい
るように思われます。激しい
現代社会に流され、消えゆ
く自己の主体性に怯え、何
かに追われるが如くに日々
を生きなければならぬ今
日こそ、心の静けさが必要
ではないでしょうか。

各自が『照願脚下』を心に
とめて生活していきたいも
のです。
翠巖龍弘

急流に耐える石は、みなまろやかである。世の荒波に耐え得る人も、自我の角なく、心まろやかである。

安善寺火防稲荷

吒枳尼尊天略縁起

翠巖龍弘

安善寺稲荷吒枳尼尊天は当寺の鎮守として、十数代前の住職が豊川吒枳尼尊天を拜請し、堂宇を建立して奉安されたものであると(年代はハッキリ致しません)伝えられております。

以来歴代の住職は篤く信仰され、国の平和・寺門の興隆・檀信徒各家の繁栄と安全などを祈念されてきました。明治元年の戊辰の役で、本堂・坐禅堂・庫院など総てが焼失しましたが、稲荷堂は戦禍を免れました。現在の奥の院で、彫刻は素晴らしいものであります。

当寺廿三世陪庵和尚の時に現在の本堂の元が再建され、廿四世大法和尚が明治八年に住職されると、吒枳尼尊天に深く祈願をこめられ、本堂の造作資金の勸募のために二回に渉って北海道へ托鉢行脚されました。



道内で路に迷うと不思議と白狐があらわれ、道案内をしてくれるなど、無事本堂再建が出来たのも吒枳尼尊天のお陰と、現在の拜殿を建てられたそうです。

その後廿五世放牛和尚も深く信仰され、昭和二十年八月一日の長岡大空襲では千三百余の尊い人命が犠牲となり、市の中心部はほと

んど焼失しましたが、然るに市の中心部にあり、周囲焼失した中に当寺は不思議にも山門以外は堂塔伽藍が全部戦禍を免れ、焼け出された方々のとりあえずの生活の場となる事が出来ました。戦禍を免れた条件はいくつか思いあたりますが、最後の最後、吒枳尼尊天の靈験のお陰と思わざるをえない

人生 一日一年 雑記

反省と感謝で

佐藤 正樹



新年あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、日頃感じていることを少し述べさせていただきます。

皆さんは朝、神棚や仏壇に向かい、今日一日はこうであってほしいとか、諸々の願い事を込め、手を合わ

いと、前任廿六世見龍和尚も信仰を深くされておりました。

火防稲荷吒枳尼尊天の大祭は「初午祭」と「秋期大祭」の二回です。

多くの方々から御参詣いただき、吒枳尼尊天に因縁を深く結んでいただき、幸福の生活を送ってもらいたいと念願する次第であります。

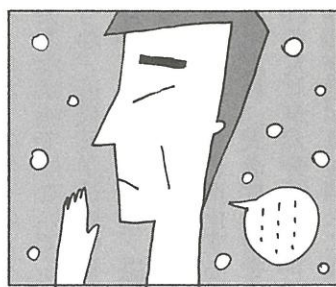
されている方が多いのではありませんか。

さて、それでは一日の終わりにはどうでしょう。朝のように、また神棚や仏壇に今日一日の反省や感謝の意味を込めてお詣りなさるでしょうか？

大みそかから新年にかけての二年詣り。最近の様子を見ますと、特に受験をひかえた子供さんと連れだつてみえる親子の姿が増えているようです。でも、苦しいときの神頼みと申しましようか、その年限りの方々が多いような気がします。

俳優の高倉健さんが何年前に書かれた『あなたにほめられたくて』というエッセイの中に「善光寺詣り」というちよつといい話があり、要約しますと、「仕事の関係で長野善光寺の節分に豆まきに行った因縁で、その後は個人的に三十年間一年も欠かさずお詣りを続けられたそうです。

三十年間のお詣りで仏様に言うことはいつも同じだったそうです。「昨年はあるがとうございました。こんなに気ままに生きて、昨年はまた、しかしかの人の心を傷つけてしまいました。反省します」と、手を合わせる。何かを頼んだ覚えは



度もない。これからも同じ事を祈り続けたいと思っているそうです。いい話ですね。また、健さんにほれ直してしまいました。

私共も健さんのような心持ちで手を合わせた方がいいですね。本年もよろしくお願いいたします。

救われたいという願いがあるなら、他を救わんとする願いをおこせ。

平成十一年を迎えて

総代 ● 渡辺 健二

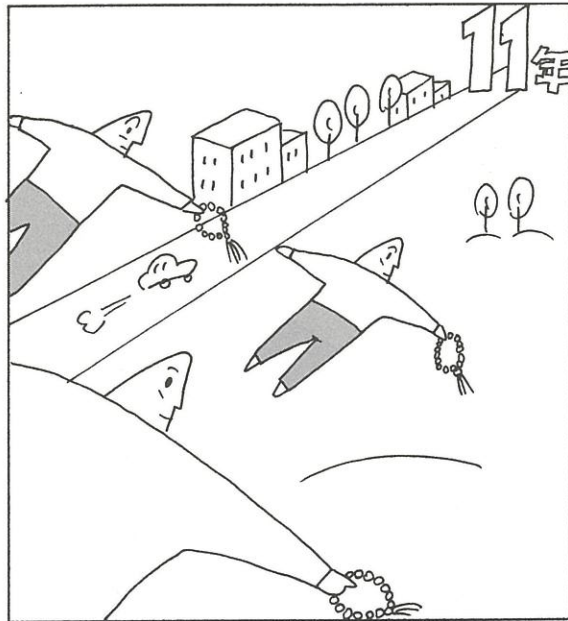


が倒産に追い込まれました。関係企業が数多くありますので、これからの長岡市内経済界への影響が激しくなるでしょう。

平成十一年を迎えて、私の生き方・考え方などについて、安善寺の行事に参加して学びとりながら人間の生きてゆくかてとしたいと

昨年三月に素晴らしい季刊「蔵王山安善寺」がスタートし、ここに第四号の発刊となりました。スタート以来ご住職のお考えに触れさせていただき、心から御礼を申し上げます。また、いろいろな方々の文章を拝読し、大変嬉しく感じました。現在の状況にふれてみたいと思います。

皆様もよくご存知のことと思いますが、現在の政治・経済の状況は非常に不安定のなかにあります。長岡市も国・県の流れを受けて、苦しい状況にあります。而も最近、長岡市の大企業



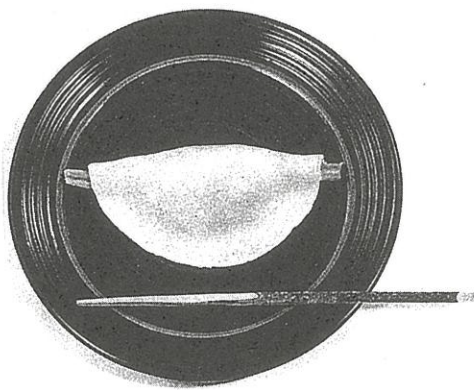
このような状況の中でこそ、心のよりどころとしてご住職の御導きを受けながら、御仏の御教えに頼ることではないでしょうか。

思っております。そして、この機関誌を読んで、人間の安心感を得ることが大事なことだと感じています。

『日々新也、季節の和菓子』

菱花びら餅ゆかし

小林 国二



元旦の朝はきびしい寒さが似つかわしい。寒気の中で、おのずと体もキリリッと引締まって『年の初めを迎えた』という思いが新たな。年が改まると不思議に「今年こそは…」という決意を胸に秘めるのだが、残念ながら凡夫な小生としては長続きせず、つい惰性に流されてしまう。だから一年を区切って、心を引締めるようにしたのは自己のおろかさ、忘れっぽさを十分に承知した人間の知恵に違いないと思います。

今回は和菓子のことを少し書かせていただきます。和菓子は季節を演出し、

感性を大切に食べる物と違ってよいと思います。菓子にはその時期にしか味わえないものがあります。その一品に「菱花びら餅」があります。(写真)花びら餅は、皇室の正月行事に作り神前に供える餅で、民間の鏡餅に当たるといいます。薄く延ばした白い丸餅に、小豆色の菱形の餅を重ね、中に甘く練った白味噌と、ごぼうの砂糖煮をはさんでそのまま二つに折り、白い美濃紙に包んで、両陛下に差し上げます。雉子酒と一口ずつ、交互にめしあがるのがしきたりとなっておるようです。薄く延ばした白い餅の向こうから、小豆色が薄紅に透けて見え、春の花という感じがするところから、花びら餅の名がついたとされています。

もともと、梅の花に見立てたものだったようですが、桜町天皇の頃から、丸餅に菱形餅を重ねるようになったらしいのです。四季の和菓子より

時々しかないので、今年こそはの決意も忘れぬようにしたいものです。

心豊かな人は、他人の長所が見え、心のまずい人は、他人の欠点のみがみえる。

ホットとクール

高橋 潔

最近新聞を読んでいたらある記事が目がとまった。「まん延する低温関係」という見出しでレポートがのっている。ホットな人間関係を嫌う男女が増えているというのだ。

恋愛にしてもお互いの生活にはあまり踏み込まない。「知り合う前からお互いの生活パターンがあり、それを崩さないのが鉄則」で、全人格をかけて熱くなる恋愛などはやらないのだそうだ。一生懸命になったり、ひたむきになったりするのはいつともないことであって、しかも、結果がすべてでありプロセスは軽んじる。感情を封じ込めてクールに、軽やかに物事をさばく。とにかく格好悪いことを極端に嫌うのだが、それは「傷つきたくないため」と分析している。



わかりあいたい」と思う人も多くいるのだが、本音をさらすと相手に「重い」と逃げられることがわかるため、つい我慢をしてしまう。その結果、それが積み重なる感情表現の方法まで忘れてゆくことになるというものであった。

このレポートを読みながら、なにかピンとこないことだなと思いつつも、ひよつと

ぼせあがって、傷つくとか、傷つかないとか考える暇も無く、あはたもえくぼ、朝から晩まで相手のことが頭から離れないホットな関係と思ひ直してみる。

もつとも、私も恋愛という若かりし頃の出来事から数十年の年月が経過して、いまさら、現在の若者の恋愛感情など論ずる資格などないのだが、あまりにも理解しがたい関係である。

今、恋愛関係に限らず、人と人との関係がそんなに低温になってしまったのだろうか。誰しも格好悪いことはしたくないし、傷つきたくも無い。でも一生懸命になることや、ひたむきになつたりすることがみつともないという感覚とはなんなんだろうか。

もし、それが若い人にとつて一般的なものだとしたら、何か冷え冷えとした将来を予感させる。物質的な豊かさが優先されてきた結果、心の豊かさがどこかにいつてしまったのだろうか。人と人との距離感や温度は、相手とのいろんな出来事の中

から生まれてくるものだし、同調する感情、時には対立する感情など、いろんなものが混ぜ合わされながら理解が進むものと思つている。そこには相手を想う気持ち

が強ければ強いほど、多少の干渉が出てくるだろうけれども、想いを共有化するためには本音で語らなければホットな交流も生まれてこないはずなのに。

私は今、子供の関係でスポーツ少年団に父兄として関わっているが、そこに一人の有名親父がいる。

この人はとにかく一生懸命の人で、時間さえあれば練習に顔を出し、自分でも子供を集めて練習を始める。悪いときはどの子にも遠慮無く愛情を持つて怒る。今時、親もそれこそ低温関係で怒らないのかもしれないのに、他人にも怒られるなんぞありがたいことと喜んで

子供には、多少迷惑なことかもしれないけれど、そんな人間関係の中で、人との距離感や温度を感じとつていてほしいと願っている。

お別れ

(平成十年九月〜十二月廿日)

佐藤正典様 九月一日寂
栃木県那須郡

清野正二様 十月七日寂
長岡市水道町

桜井純一様 十月十一日寂
東京都

渡辺智子様 十月十三日寂
長岡市東坂之上

横田博様 十月三十一日寂
長岡市草生津

大塚栄司様 十一月三日寂
長岡市弓町

山本孝様 十一月廿日寂
長岡市

石丸政治様 十二月十三日寂
長岡市本町

渡邊幸太郎様 十二月十六日寂
長岡市宮原

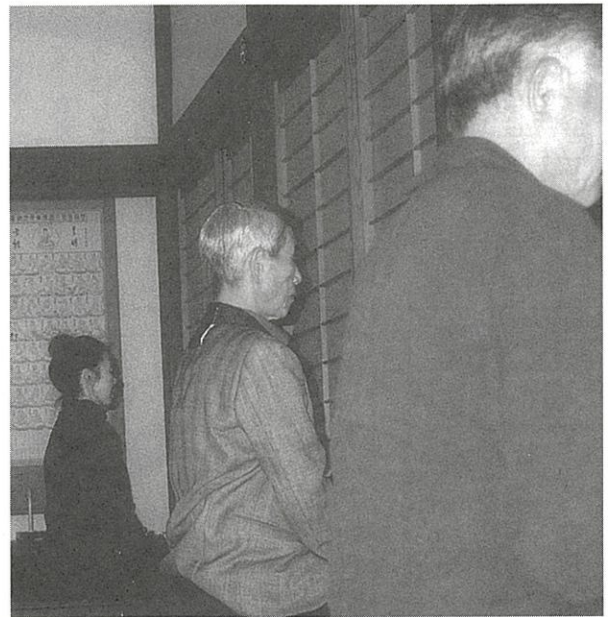
ご冥福をお祈り申し上げます。

安らぎのひと時を



片桐 禄郎

参禅会に寄せていた
てから、もう十年余りにも
なる。しかし、人様の前で明
るく「私は坐禅をしていま
す」と言える状態ではあり
ません。「あなたもどうぞ、
坐禅においでくださいいな
」と誘いかける勇気ない。
なぜなのだろうか。坐禅
の効用を実感していないの
ではない。しかし、坐禅の真



実を得ていないことも、ま
たその通りである。
どうしても「自己の救いと
癒し」に的が絞られた坐禅
のままなのが、未だに私の
坐禅の姿である。

仏教の基本教理（仏の教
え）は「執着を滅すること
にあるのだということをお忘
れないで、毎朝の坐禅に努
めたい。坐っている時だけ
は、坐ることみに専念す
る。自己の救いも忘れて。
聞かせている。

この絡子は参禅会に参加
して数年後に頂戴し、裏面
に翠巖龍弘方丈様から絡子
の効用を説いた文の揮毫を
いただいた。ある。
大哉解脱服
無相福田衣
披奉如来教
広度諸衆生
この言葉を私なりに次の
ように解釈して自分に言い
聞かせている。
「この今の私の体は解脱
対象の身である。しかも、
是非善悪という価値観には
左右されない、本来無垢の
存在なのだ。だから「仏の
教え」を信じて生きなさい。
そして、すべての衆生のご
恩を受けているこの身の存
在を自覚して、感謝の行に
努めましよう」と。
独りの坐は不安定になり
やすいから、月に三・四回
の安善寺本堂での参禅で同
行の皆様と一緒に坐る。
一時間の坐りのうち、後半
の二十分位は、方丈様のご
講話と読経の斎唱となる。
教えられ、心の浄化につな
がるのである。
終わって短時間の茶話会
は、また、豊かな話題で視野
を広げるのに役立つ。視
野を拓く。同行の皆様と共に
坐ることのお陰をありがた
いことと感謝している。
初めに、坐禅会へお誘い
する勇気がないと告白しま
したが、今はもう少したく
さんのお方が参加されて衆
坐の雰囲気が高まるように
と願っています。

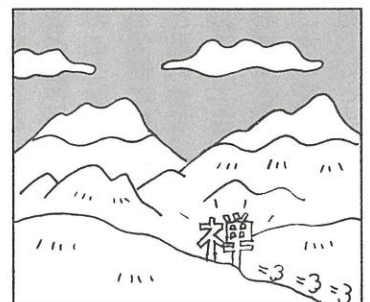
今こそぞ 三千大千也
界即是空 空即是色ぞ
正身端坐

龍弘流 読者とのQ&A

Q 私共の宗派は曹
洞宗であると聞い
ておりますが、禅
宗と違うのですか？ 曹洞
宗とはどんな宗派ですか？

A 曹洞宗というの
は、禅宗の一派で
す。禅宗とは、坐
禅宗の略で、お釈迦さまが
菩提樹の下で坐禅を組んで
悟りを開かれましたが、釈
迦より二十八代目法孫、達
磨さまが、中国に禅を伝え
られました。達磨所伝の禅
法によって、悟道を期する
宗の意であります。

達磨さまから六代目の慧
能禅師の後、中国では禅宗
が栄え、臨済宗・沩仰宗・
曹洞宗・雲門宗・法眼宗の
五宗ができ、臨済宗から黄
龍・揚岐の二派ができ、五家
七宗と言われております。
日本には、鎌倉時代に臨
済宗、曹洞宗が伝わり、江
戸初期に、念佛の要素をも
つ禅淨融合の黄檗宗が伝わ
りました。



曹洞宗は、およそ二千五
百年前、お釈迦さまにはじ
まり、歴代の祖師たちに伝
えられ、両祖大師（道元禅師
を高祖大師・瑩山禅師を太
祖大師と申します）によつ
て示された正しい坐禅を行
うことを宗旨とし「修証義」
の教えに生きることが、教
義となっております。

釈迦牟尼仏（お釈迦さま）
を御本尊と仰ぎ、越前の永
平寺（高祖道元禅師の御開
創・鶴見の總持寺）太祖瑩
山禅師の御開創の両大本山
の下に、海外を含めて、約一
万五千カ寺の寺院があり、
寺院数、僧侶数とも一番多
く、日本の仏教を代表する
大教団です。また、宗教法人
「曹洞宗」教団の宗務執行機
関として、曹洞宗宗務庁が、
東京都港区にあります。

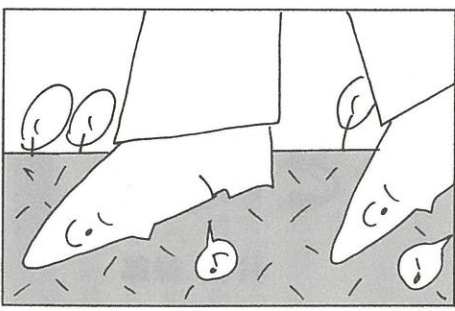
言葉に責任を持ち、心常に正しく、身をつつしみ、陰徳をつむ人、これを仏と言う。



散歩道での出来事

新潟市●金泉 邦弥

「黒土の見るも懐かし雪の国」などと苦吟しながら、毎日の彼岸の散歩の習慣で、陽春の程遠い松波町付近を、ぶらりと通りかかったときのことでした。



すれ違った杖をつく三十歳くらいの女性に付き添ってきた老婦人から「すぐ近くでこの女性に出会い、新潟高校のグラウンド近くに行きたいが、目が不自由のう

え、地理不案内のため案内して欲しいと声をかけられ、ここまでお連れしたが、私自身も足が不自由で、これ以上は無理なので、私に代わって案内してくれませんか」と呼びかけられました。

私は特に用事はなく、それに新潟高校まで遠くないので、老婦人の呼びかけを了承して、女性の左腕を抱えるようにして歩きながら、日ごろの不自由さを話しかけるのは失礼と思い、ひとまず行き先を尋ねますと、その答えとともに、「腕を抱えなくとも大丈夫です」と、遠慮がちな言葉が返ってきましたが、残雪の一人歩きは危ないので、左肩に触れる程度で、ゆっくり目的地に到着しました。

その間の僅かな会話の中で、応対態度は謙虚で、しか

私の言葉は「気を付けて下さいね」と言うのがヤツトでしたが、女性の「ありがとございまして」という落ち着いた自然な言葉が印象的でした。私は、お恥ずかしいながら、この年齢になるまで、



も明るさに努めておられることがうかがわれました。また、お互いに名前を名乗ることもなく、別れ際の

目の不自由な人達に対する関心は薄いものでした。女性と同じ境遇であつたら、どうなつていようかと、

自問自答しています。

女性を見送った帰り道、謡曲「弱法師」の目の不自由な主人公が、どこまでも境遇にあまんじて、あたりの風情を楽しむ物語を思い出し、この女性も、家族の協力があつたにしても、おそらく「弱法師」の主人公と同じような、素直に生きる心豊かなお人であろうと、貴重な教えをうけた散歩道でした。

- 無得智俳句の会より
- ・ 伝統の行事守りて 悠萌
 - ・ 去年今年 悠萌
 - ・ 腰据える暇なき 美代子
 - ・ 妻のお元旦 美代子
 - ・ 副笑ひ口も目鼻も 八重子
 - ・ 踊らされ 八重子
 - ・ 初句会先ず御仏に 紀子
 - ・ 参りけり 紀子
 - ・ 松の葉と一寸気どつた お年玉 静

編集 雑感

去年、創刊号を発刊するまでは、正直いって敷居が高くて、お寺に行く

のは年賀とお盆だけ。それどころか、何年か前までは「お宅のお寺は？」と聞かれても、宗派すらおぼつかないありさま。編集長本人がそんな状態ですから、若い方たちはお寺と親しむなんて考えられないことでしょう。▼けど、打ち合わせで、お寺に出入りしていると、昔のお寺って気軽に寄って話したり、悩みを聞いてもらったりするコミュニケーション・センターの役割をしていた、つてことがよくわかります。安善寺とおつきあいさせていただいてみると、そんな温かな雰囲気を感じるのです。▼法事のことやお墓のこと、お寺に関わること、そして人生のことや仏のことなど、皆さんがもつと気軽に相談されるとよいと思います。▼この機関誌『蔵王山安善寺』が、お寺とお檀家さんを親しく結び呼び水の役割を果たせばうれしいと思います。(安藤)

稿迎 投歓

皆さまの楽しいお話や身近なお話、「ご質問・ご相談、ご意見をお寄せください。お手紙・ファックスのいずれでも結構です。お待ちいたしております。

〒940-0052
長岡市神田一四一十
安善寺 近藤龍弘
FAX 0258-322870

第5号、春号は平成十一年三月八日(月)発行予定です。